

ばれいしょの安定調達 ～カルビーポテトにおける中長期の取り組み～

Calbee

カルビーポテトにおけるばれいしょ事業

生産者と二人三脚で取り組み、ばれいしょを無駄なく供給する技術と体制を整備



1.生産者とコミュニケーション

収量・品質向上のために



- ▶栽培,収穫技術情報提供
- ▶問題点へアドバイス
- ▶新品種のトライアル

生産者の“成長”をサポート

2. ばれいしょの管理者として

収量・品質の見極めと対応



- ▶圃場観察
- ▶圃場調査



収量予測
層別
デリバリー

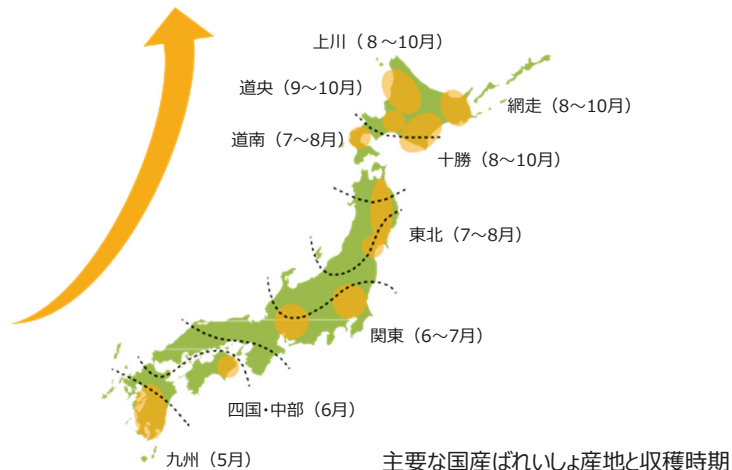
数量確保、品質向上

ばれいしょ安定調達への取り組み

気候変動や生産者不足に対応しながら、国内産ばれいしょの安定調達に取り組む

①産地分散化と作付面積拡大

- 北海道内での産地分散化や、東北・九州北部エリアの産地を開拓
- 重点開発エリアで10年間に面積を1.5倍拡大



②省力化の推進

- 収穫の省力化
 - ✓ 契約農家からの全量仕入
 - ✓ バラ貯蔵
 - ✓ 出荷時選別



バラ貯蔵の様子

- コントラクター事業による収穫支援



コントラクター事業で使用する大型機械
2ローハーベスター

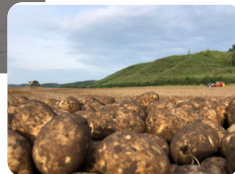
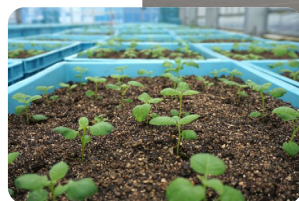
ばれいしょ安定調達への取り組み

研究開発とフィールドマンのサポートによる新技術の活用で生産の安定化に取り組む

③新品種の開発・普及

- 20-30年先の環境変化を見据えた研究開発を実施
- 新品種の開発と普及を進め、製品品質と農業生産性の両方を向上させる
 - ✓ 2017年に独自品種「ぼろしり」*を登録
 - ✓ 新品種のテスト栽培もスタート

カルビーポテト
馬鈴薯研究所



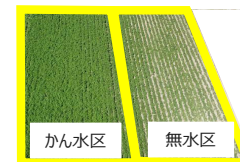
*自社開発品種「ぼろしり」
病害抵抗性が高く、収穫の手
間の少ない品種

④科学的栽培の推進

- 「新たな技術」×「フィールドマンによるサポート」
 - ✓ 土壌水分のモニタリングとアラート発信



圃場に設置された
土壌水分計端末



かん水区と無水区の違い

- ✓ 土壌分析に基づく適正な施肥



リン酸減肥普及推進

- ✓ 気象情報を基にした
防除情報の提供



掘りだそう、自然の力。

Calbee